

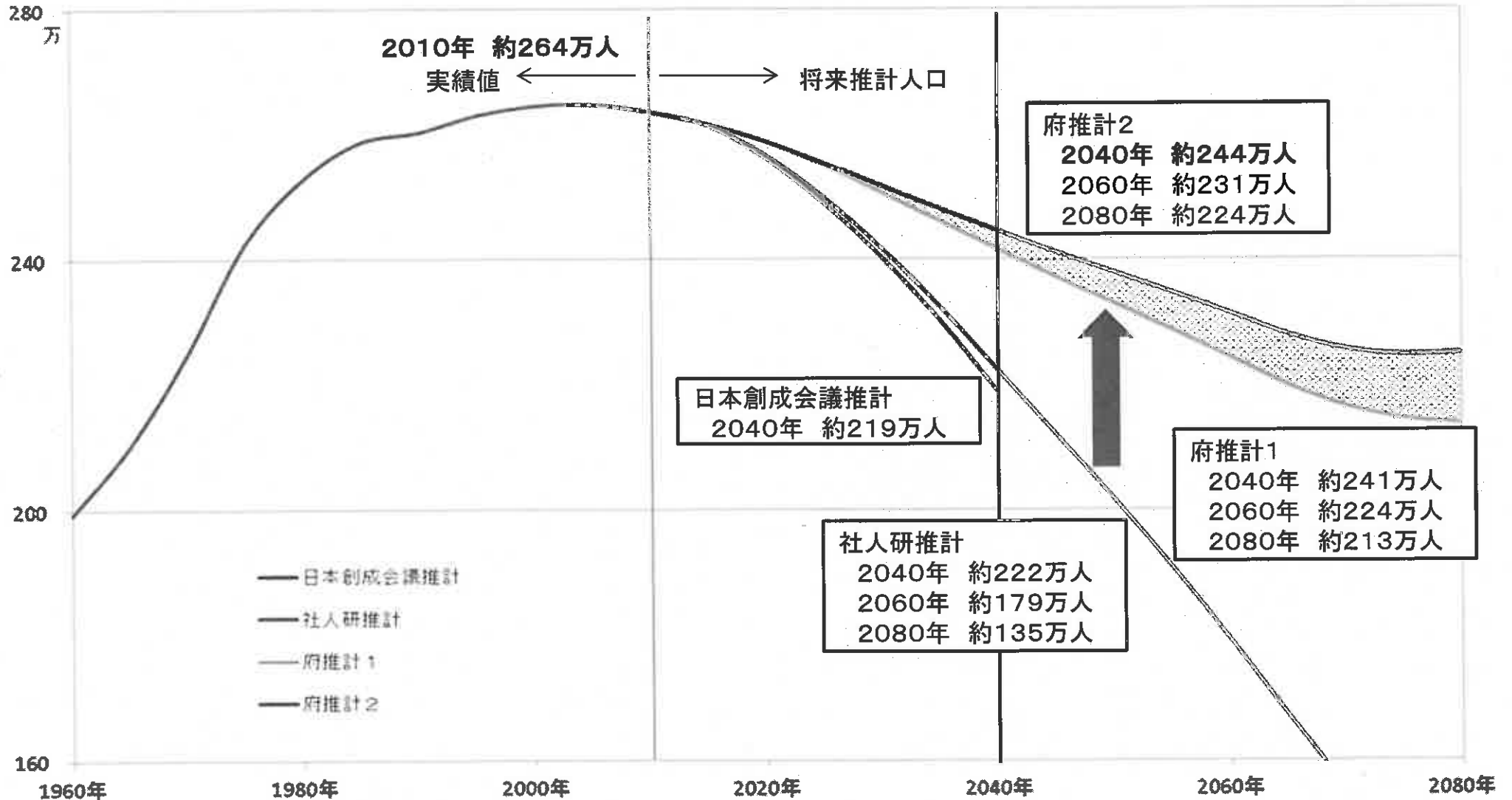
京都府を取り巻く社会情勢

～検討の基礎となる統計データについて～

- ①府内総人口の推移
- ②年齢別人口の将来推計（全国）
- ③府内認知症高齢者数の推計
- ④府内3大生活習慣病による死亡率の推移
- ⑤合計特殊出生率の推移（全国・府）
- ⑥府内出生数の推移
- ⑦生涯未婚率の推移（全国）
- ⑧自治会・町内会加入率の推移（全国）
- ⑨大学・短期大学等への進学率（全国・府）
- ⑩有効求人倍率の推移（全国・府）
- ⑪非正規雇用者数の推移（全国）
- ⑫女性のM字カーブの推移（全国）
- ⑬府内企業の休廃業・解散と倒産件数の推移
- ⑭観光入込客数及び観光消費額の推移（府内）
- ⑮西陣・丹後地域の織物出荷額の推移
- ⑯府内農業産出額の推移
- ⑰府内農業産出額の推移（就業者1人当たり）
- ⑱整備新幹線の整備スケジュール（想定）
- ⑲高速道路の開通予定
- ⑳府域鉄道整備事業箇所図

府内総人口の推移

2040年には、府内の総人口は約244万人にまで減少する見通し
(2010年から▲20万人)

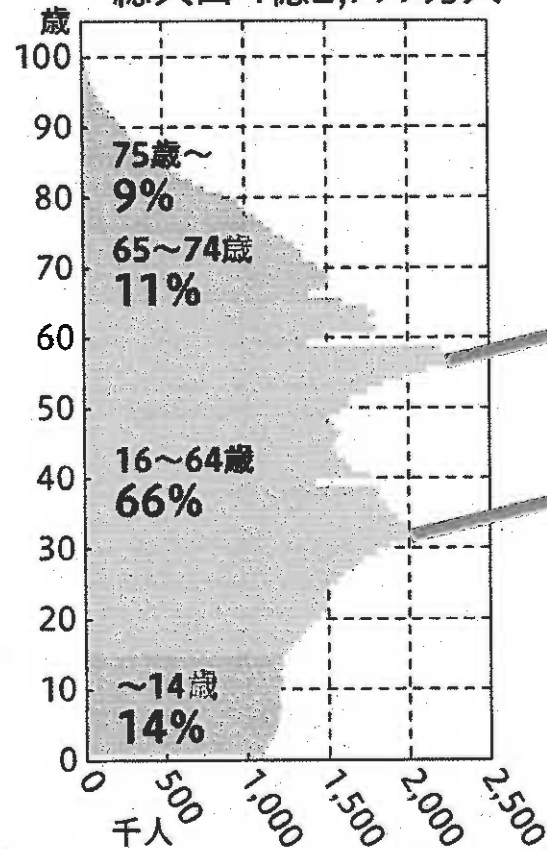


■年齢別人口の将来推計(全国)

2025年には「団塊の世代」が後期高齢者に

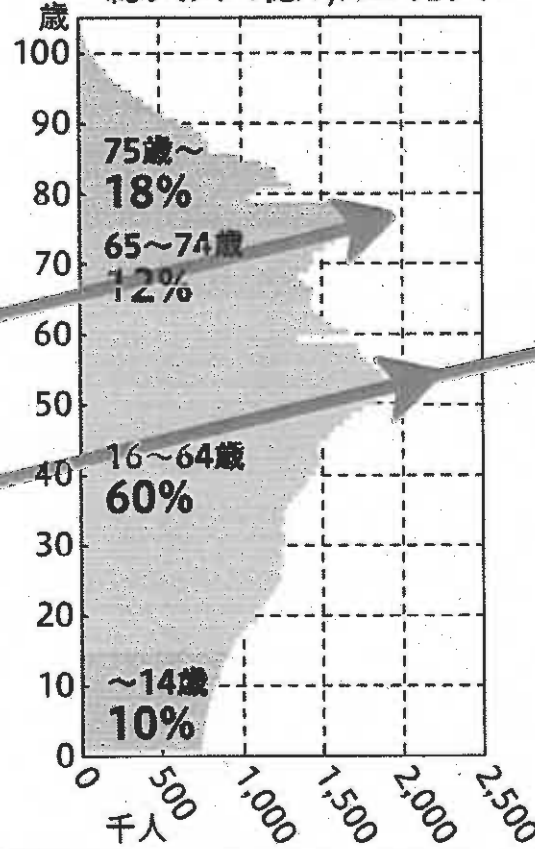
2005年 (H17)

総人口 1億2,777万人



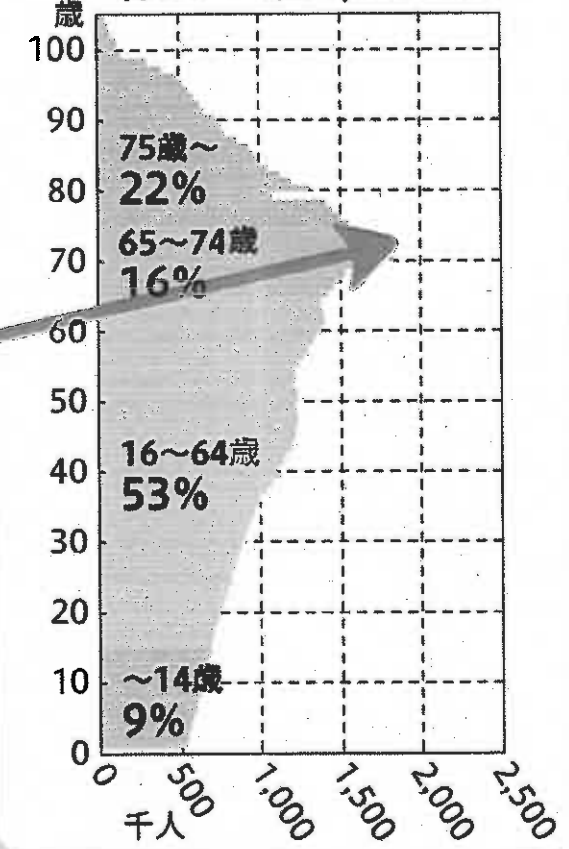
2025年 (H37)

総人口 1億1,927万人



2045年 (H57)

総人口 1億0,570万人



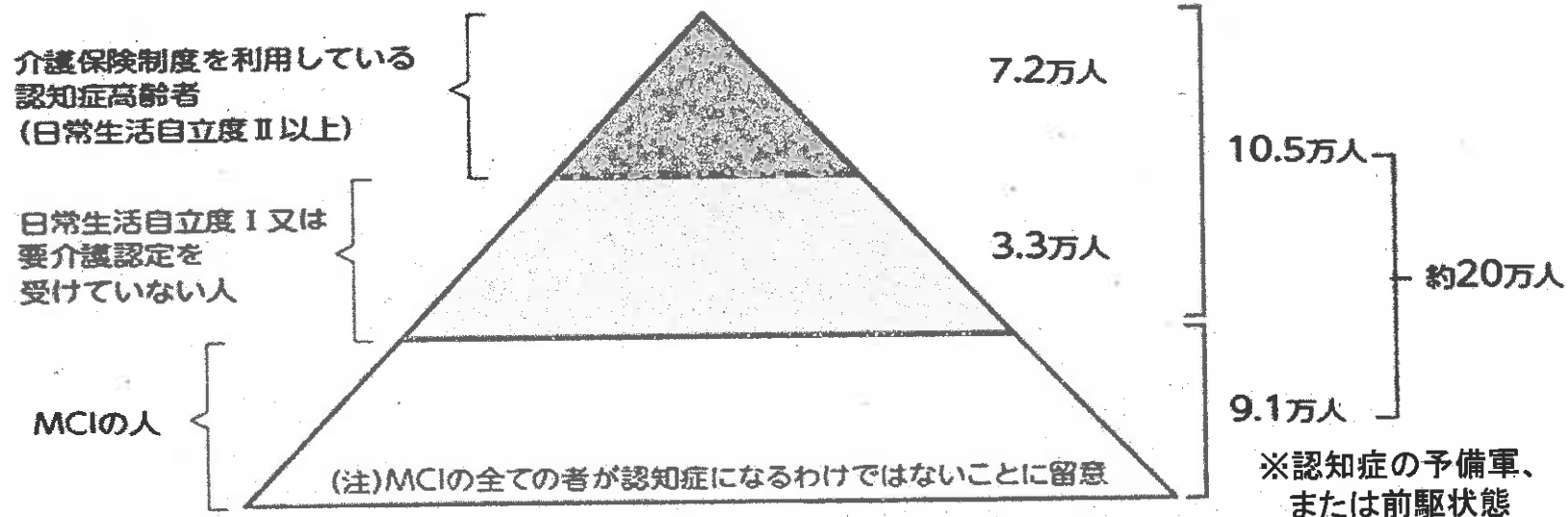
■府内認知症高齢者数の推計

(認知症高齢者数の推計(厚生労働省研究班推計ベース))

10年後の2025年には、2015年の1.5倍の約16.0万人と推計

認知症高齢者数の推計 (単位: 万人)

	2012年	2015年	2020年	2025年
認知症高齢者数(全国)	462	525	631	730
京都府にあてはめた場合	9.6	10.5	13.6	16.0



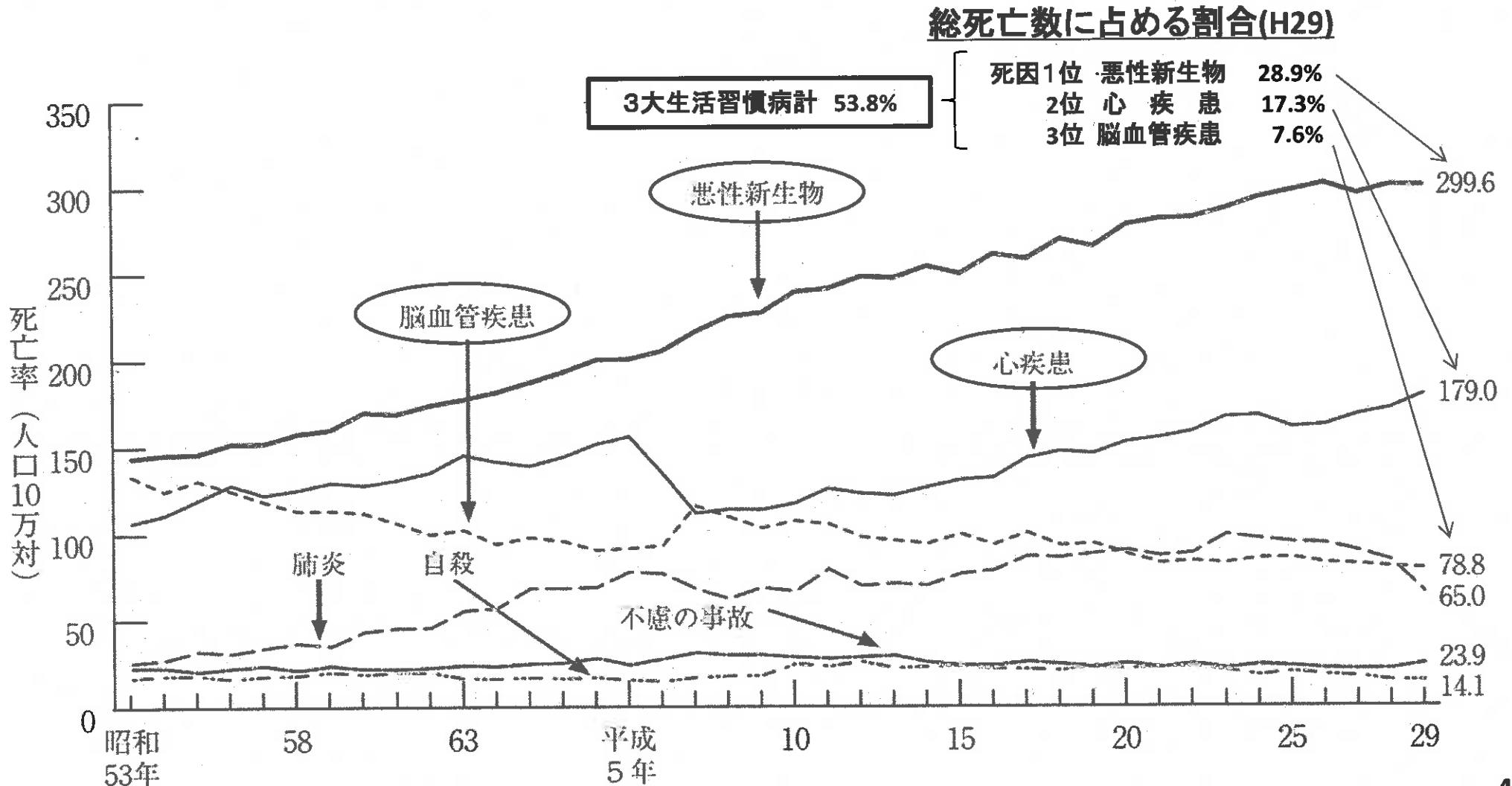
※「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授)の推計をもとに、京都府の高齢者数にあてはめて推計(31ページ・資料6を参照)。

※MCI: 軽度認知障害。記憶障害はあっても、認知症とは言えない状態。認知症の予備軍、または、前駆状態といわれる。

※MCIの推計値は、「都市部における認知症有病率と認知症生活機能障害への対応」(平成25年3月)の推計をもとに、高齢者数の13%で推計。

■府内3大生活習慣病による死亡率の推移

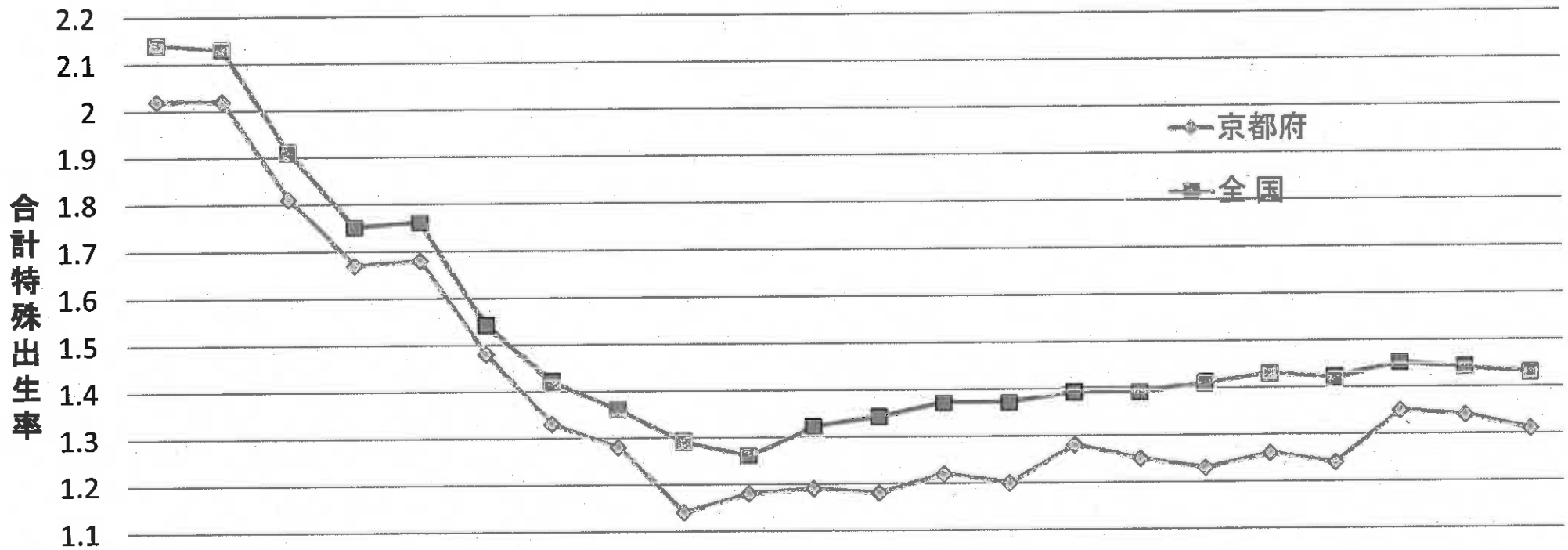
悪性新生物（がん）、心疾患による死亡率は上昇傾向



出典：平成29年人口動態統計(概数)(京都府分)

■合計特殊出生率の推移(全国・府)

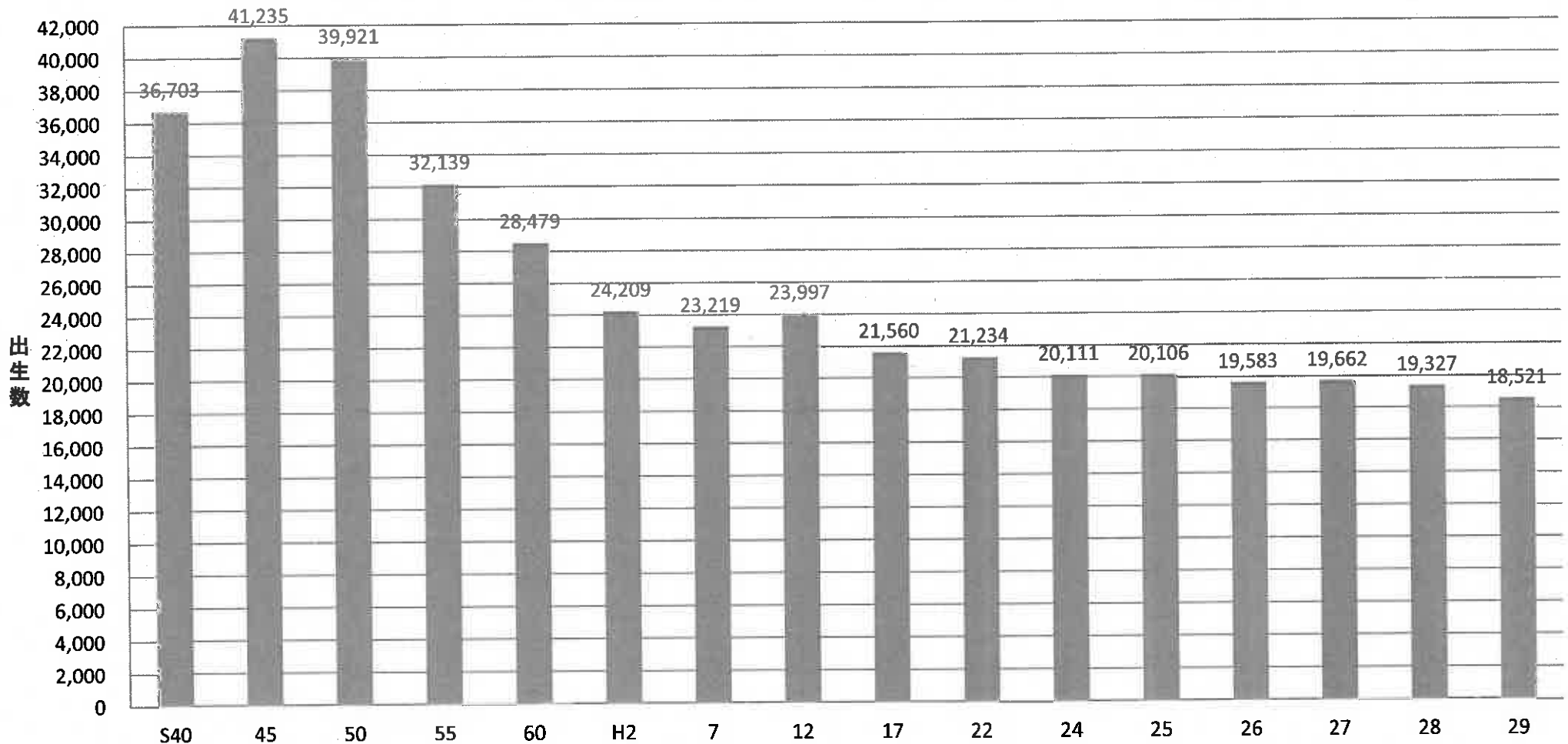
平成29年は1.31と平成28年と比べて0.03下降。全国44位



	S 40	45	50	55	60	H2	7	12	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
京都府	2.02	2.02	1.81	1.67	1.68	1.48	1.33	1.28	1.14	1.18	1.19	1.18	1.22	1.2	1.28	1.25	1.23	1.26	1.24	1.35	1.34	1.31
全国	2.14	2.13	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43

■府内出生数の推移

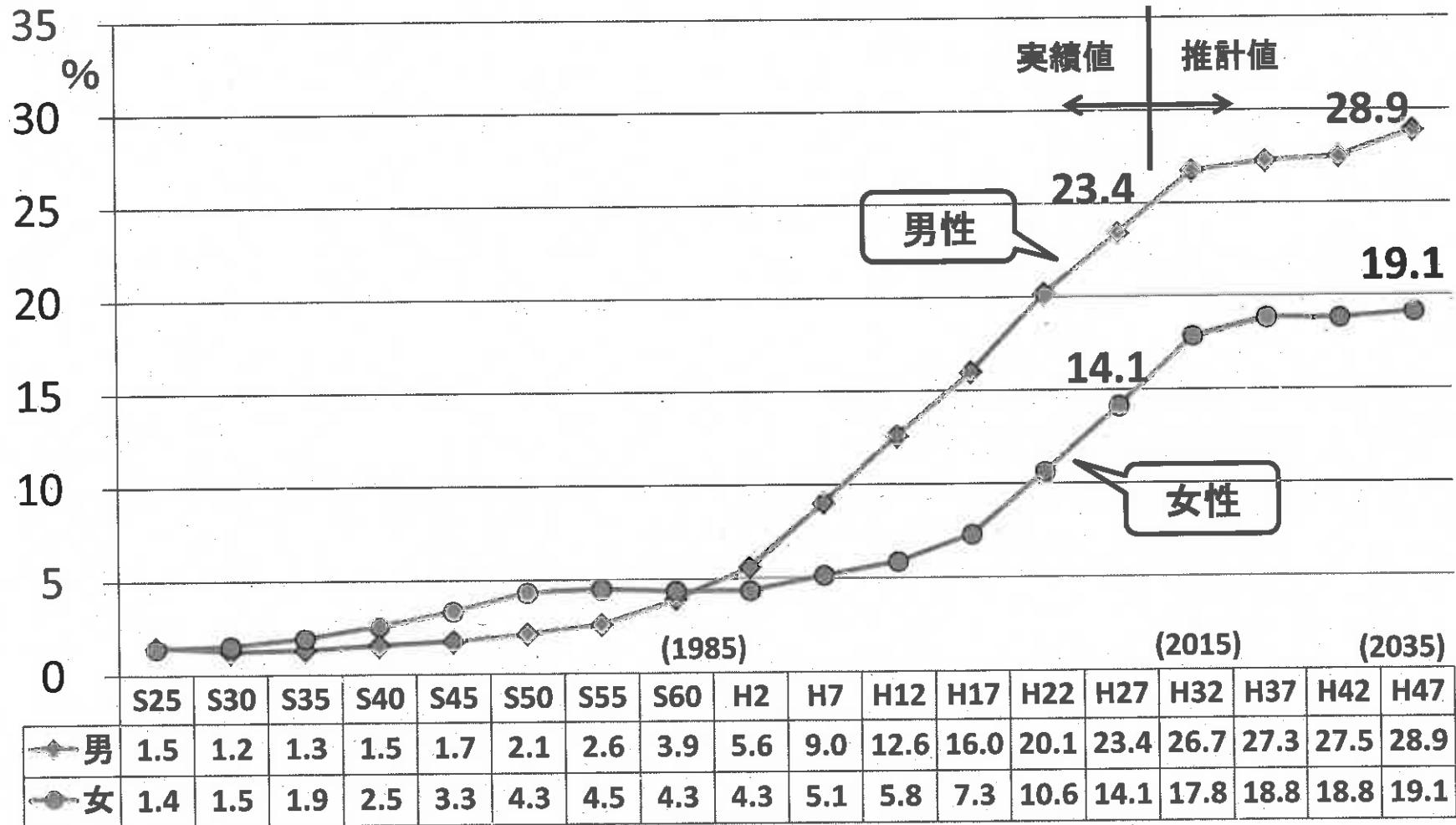
**昭和45年当時（今から約50年前）は4万人を超過
平成29年は初めて1.9万人を切った状況**



出典：厚生労働省「人口動態調査」

生涯未婚率の推移(全国)

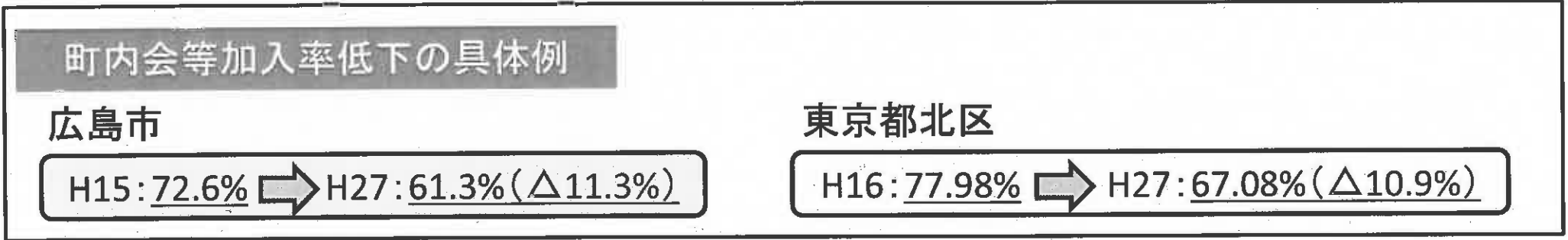
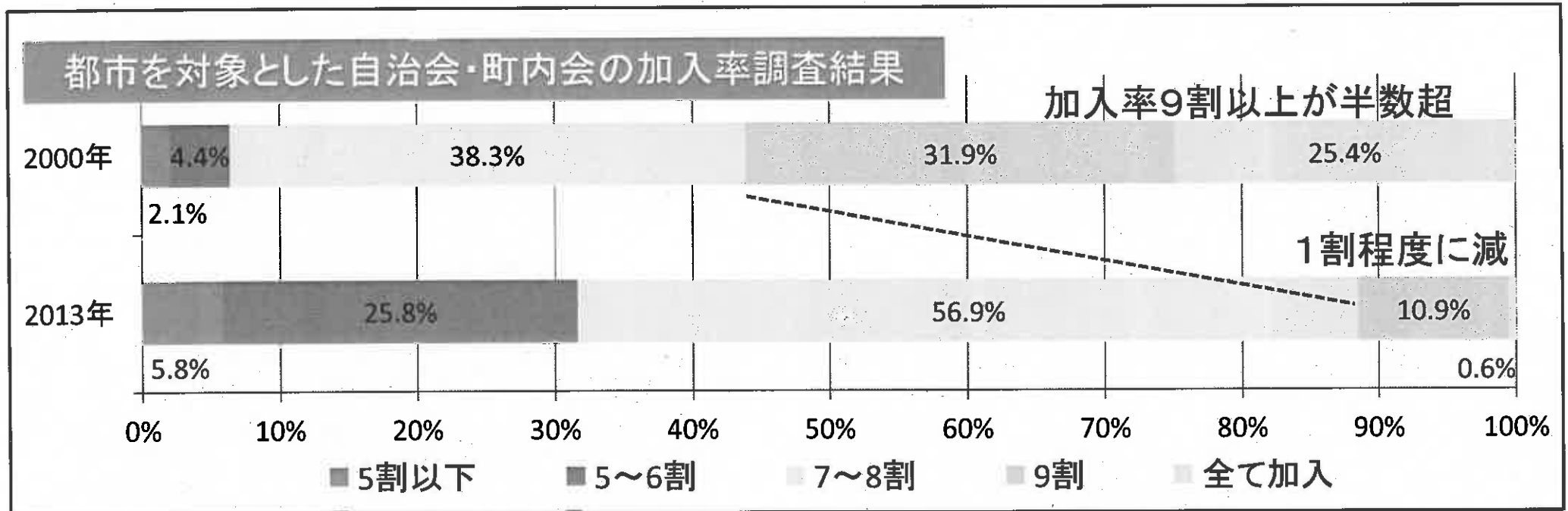
未婚化、晩婚化の流れが変わらなければ今後も上昇が続く見込み



出典：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2017改訂版)」、「日本の世帯数の将来推計(全国推計)平成25年1月推計」
生涯未婚率は45～49歳と50～54歳未婚率の平均値であり、50歳時の未婚率

自治会・町内会加入率の推移(全国)

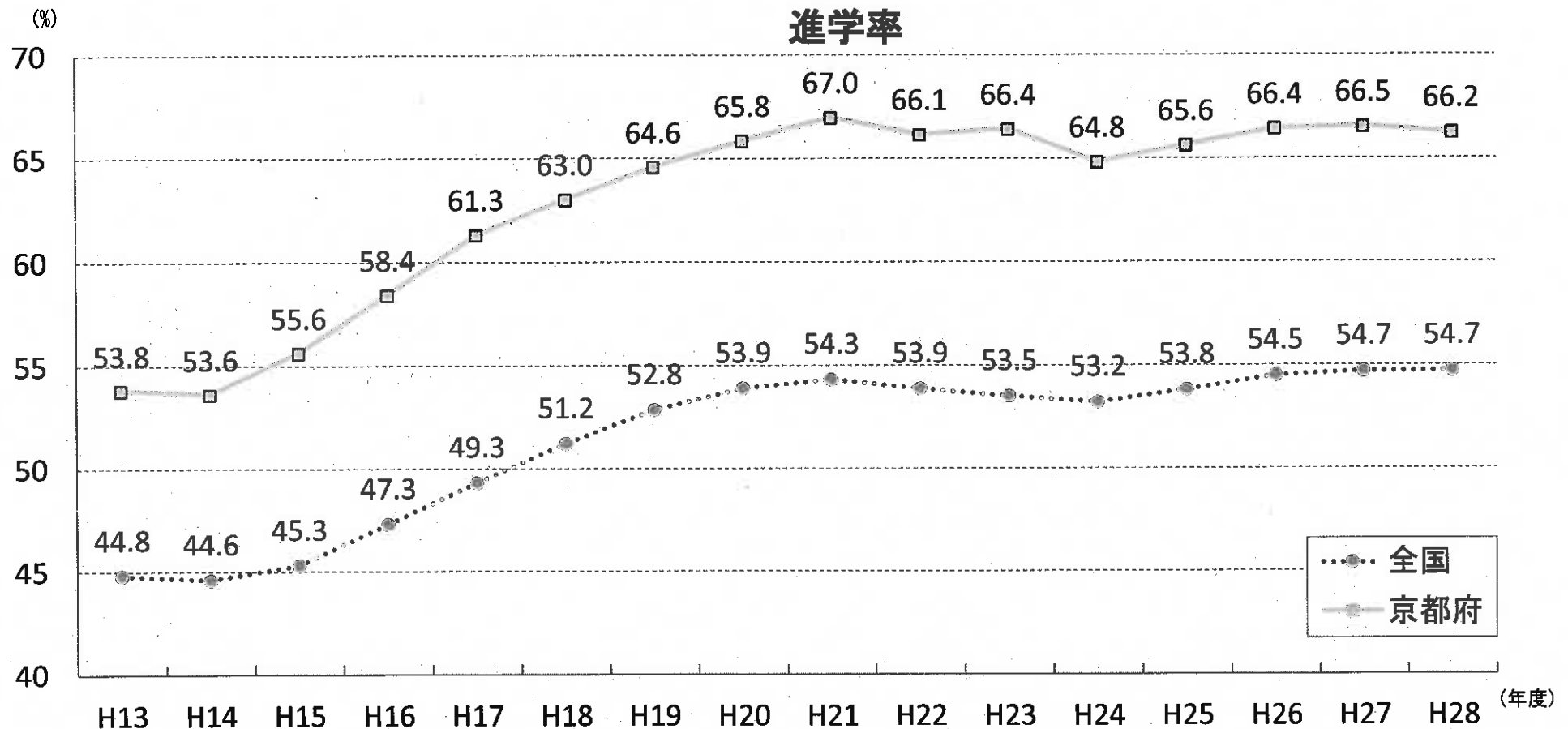
少子高齢化の影響等により地域コミュニティの活力が低下



出典：公益財団法人 日本都市センター「地域コミュニティと行政の新しい関係づくり(2014年3月)」及び各地方自治体資料など

大学・短期大学等への進学率(全国・府)

京都府は大学が多く、進学率は全国1位
(人口あたりの大学数は全国1位)

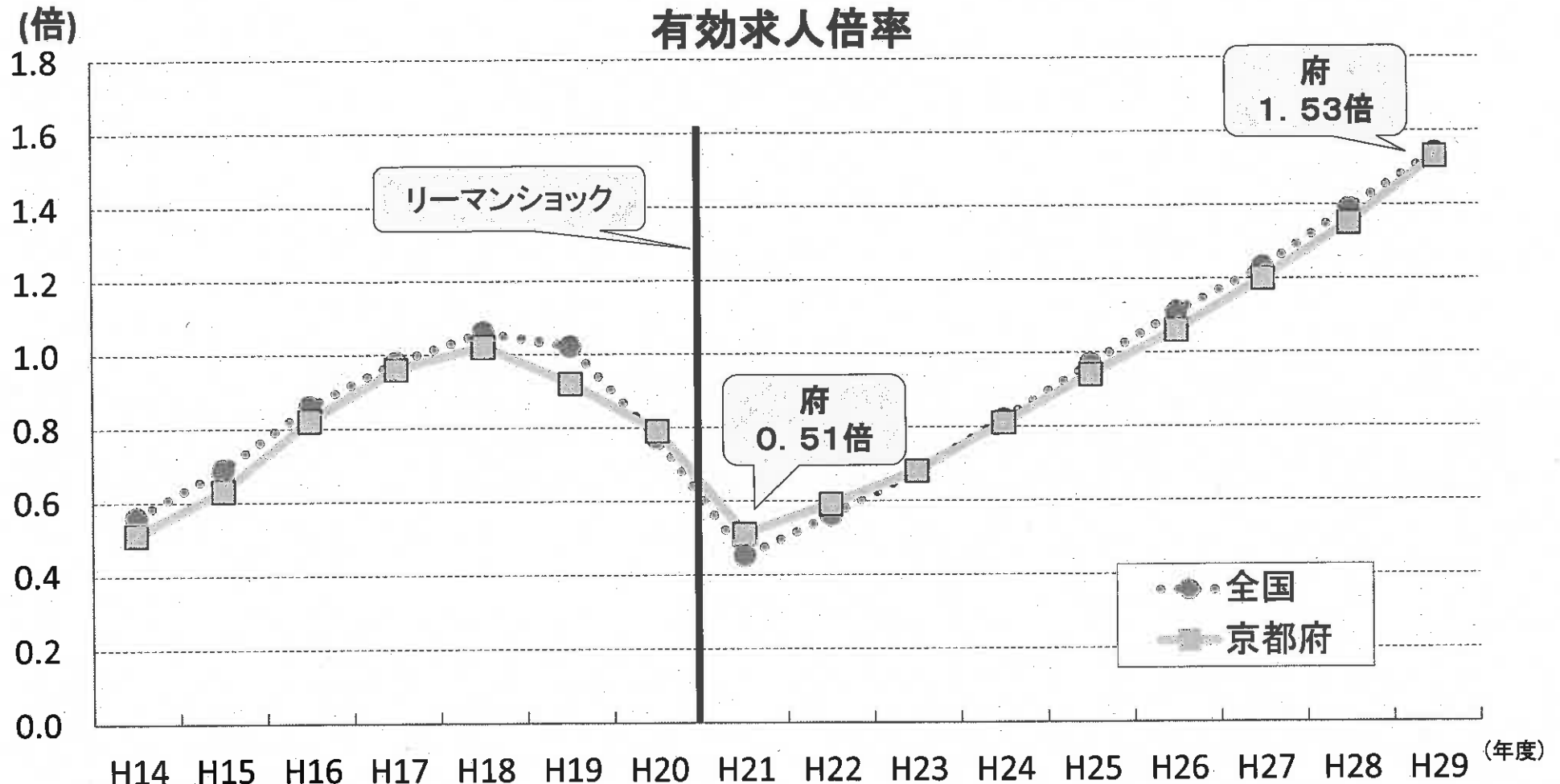


注：学校基本調査は毎年5月1日現在の結果である。しかし、卒業生に係る結果は該当年の3月に卒業した者の結果となる。このように考えると調査年の1年度前の結果とも考えられる。当グラフではこの考え方にに基づき各年とも調査年から1年を引いた結果で掲載している。

出典：学校基本調査（文部科学省）

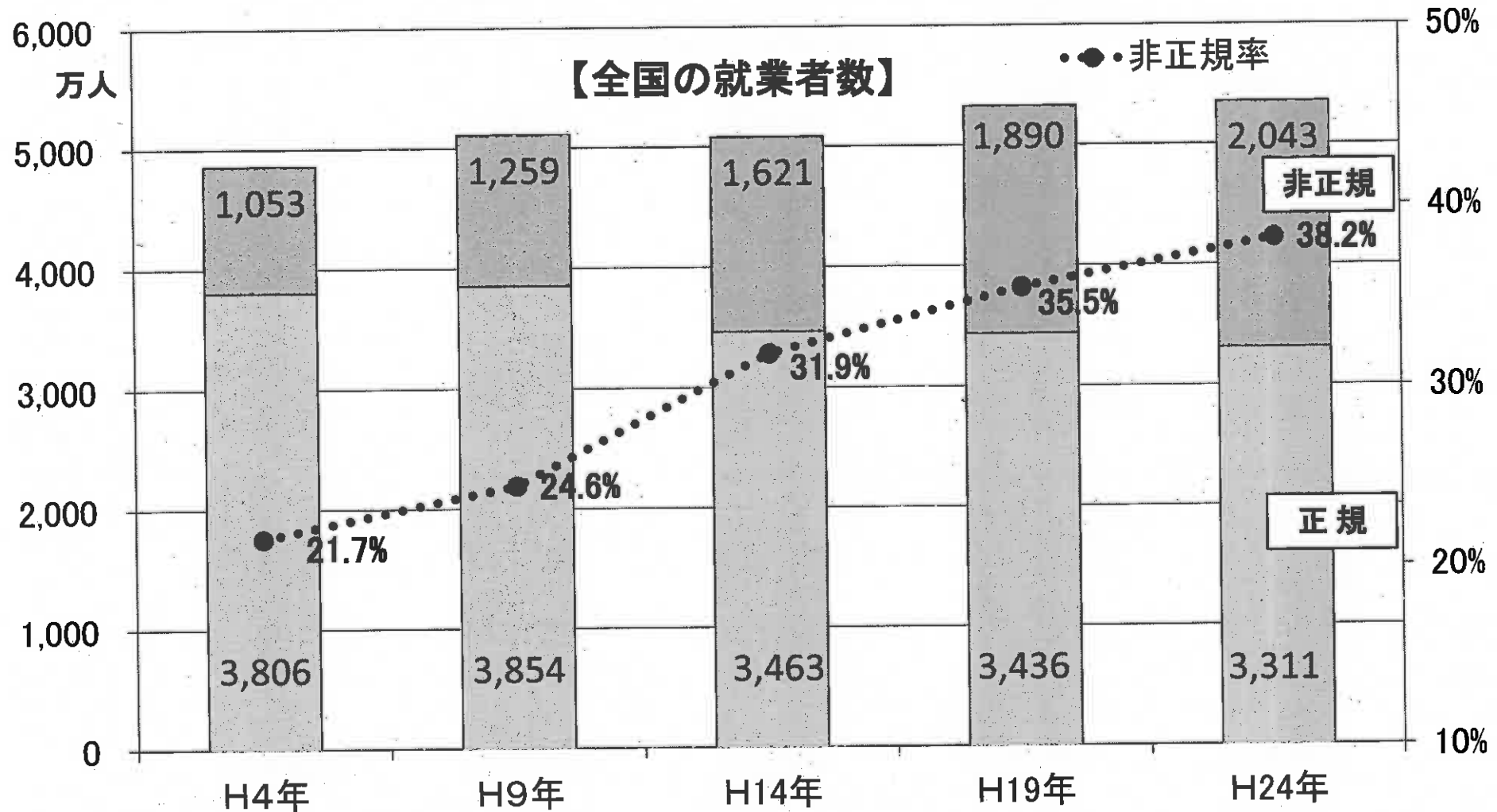
■有効求人倍率の推移(全国・府)

府内の有効求人倍率は過去最高の水準を記録、企業の人手不足が深刻化



■非正規雇用者数の推移(全国)

非正規雇用率の高い60歳以上人口の増加などにより
非正規労働者数は右肩上がりで推移

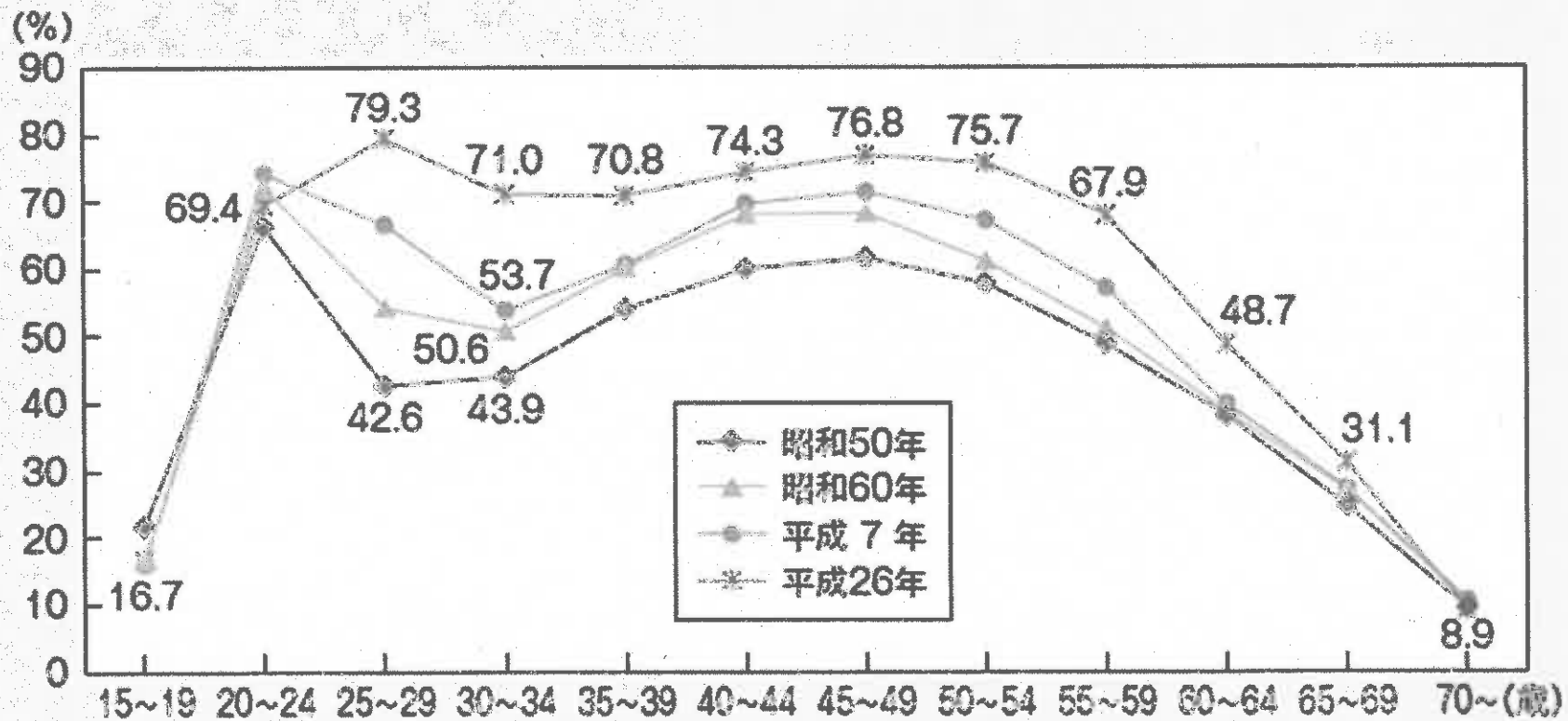


出典:総務省「就業構造基本調査」により算出

■女性のM字カーブの推移(全国)

昭和と比べM字曲線は緩やかに改善されるも未だ残存

I-2-1図 女性の年齢階級別労働力率の推移

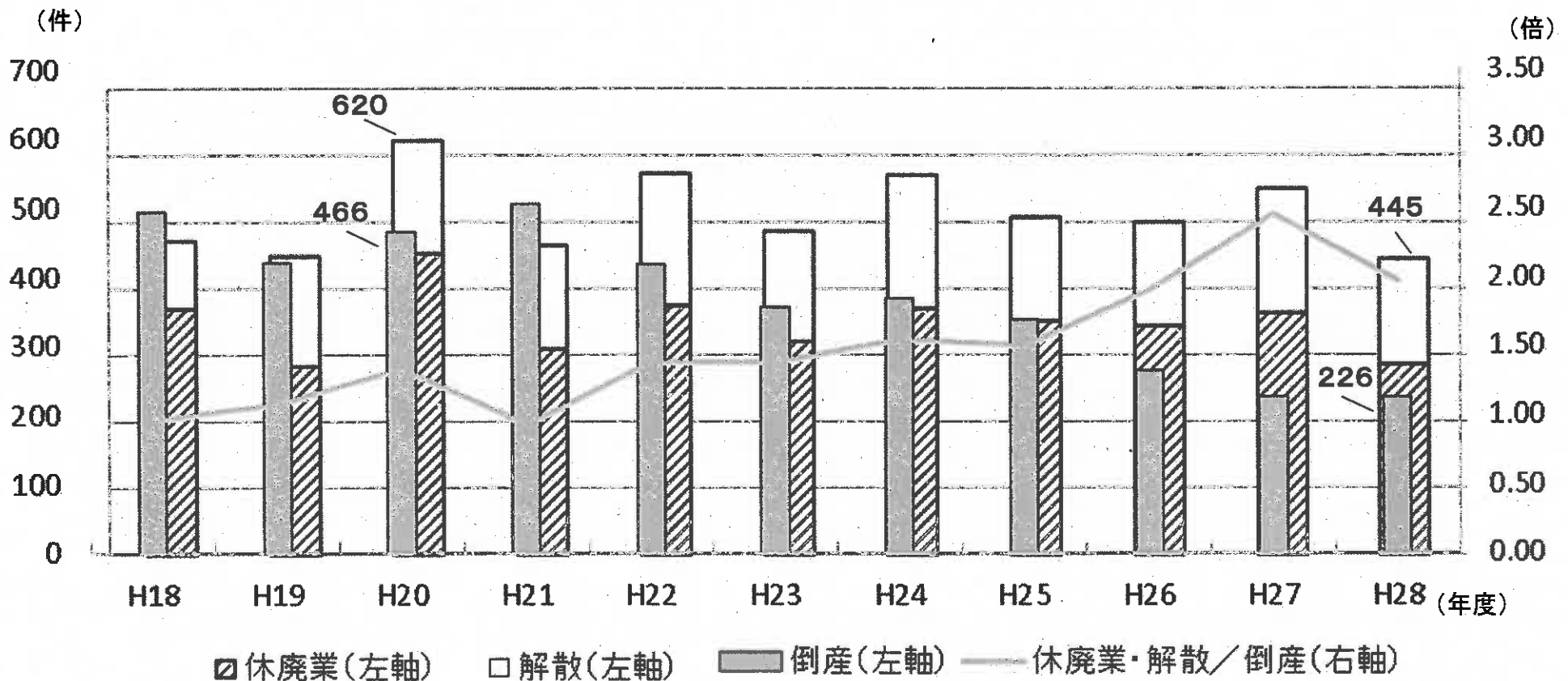


(備考) 1. 総務省「労働力調査(基本集計)」より作成。

2. 「労働力率」は、15歳以上人口に占める労働力人口(就業者+完全失業者)の割合。

府内企業の休廃業・解散と倒産件数の推移

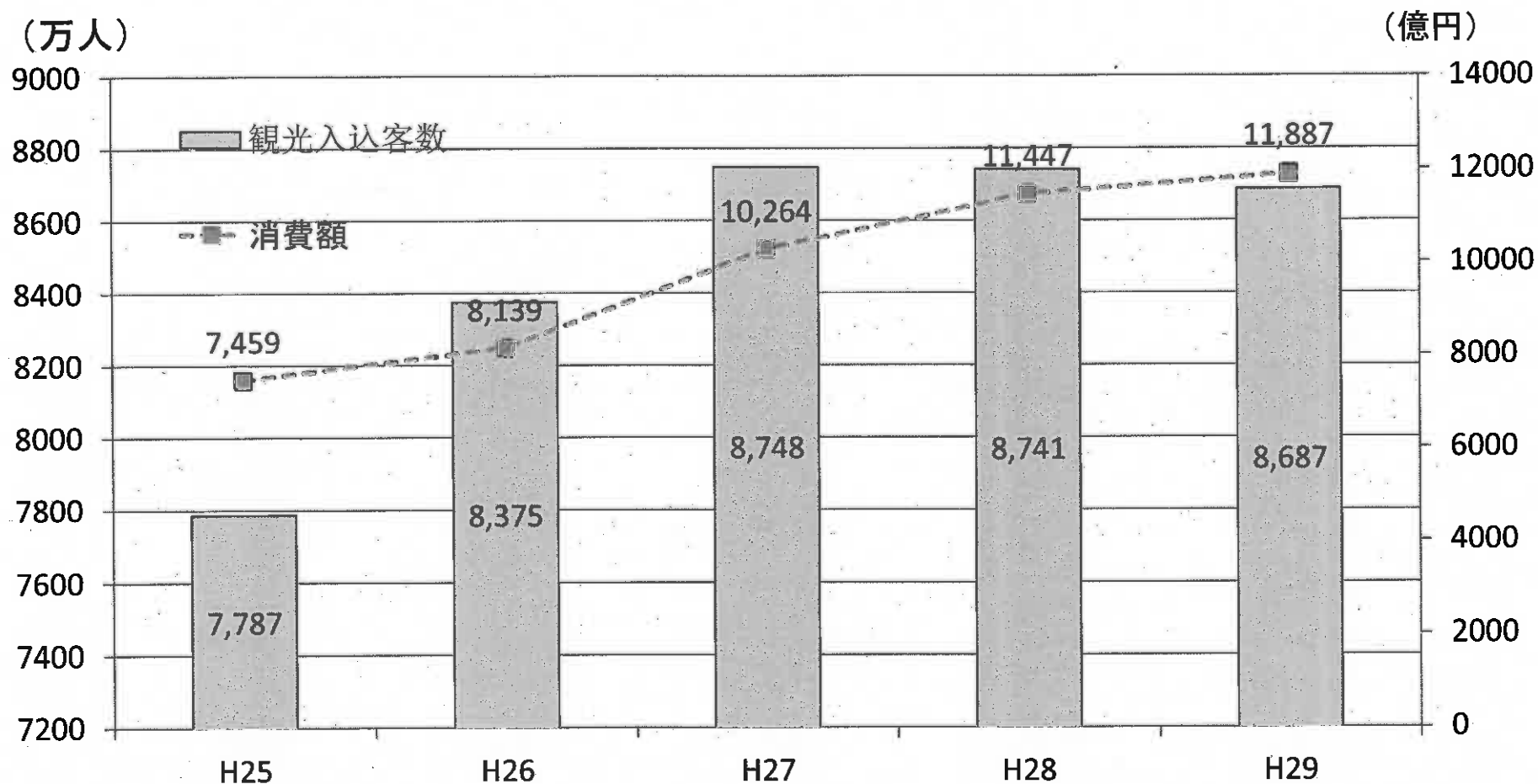
リーマンショックの影響によりピークであったH20年度から
休廃業・解散・倒産件数は大幅に減少



出典: (株)帝国データバンク京都支店

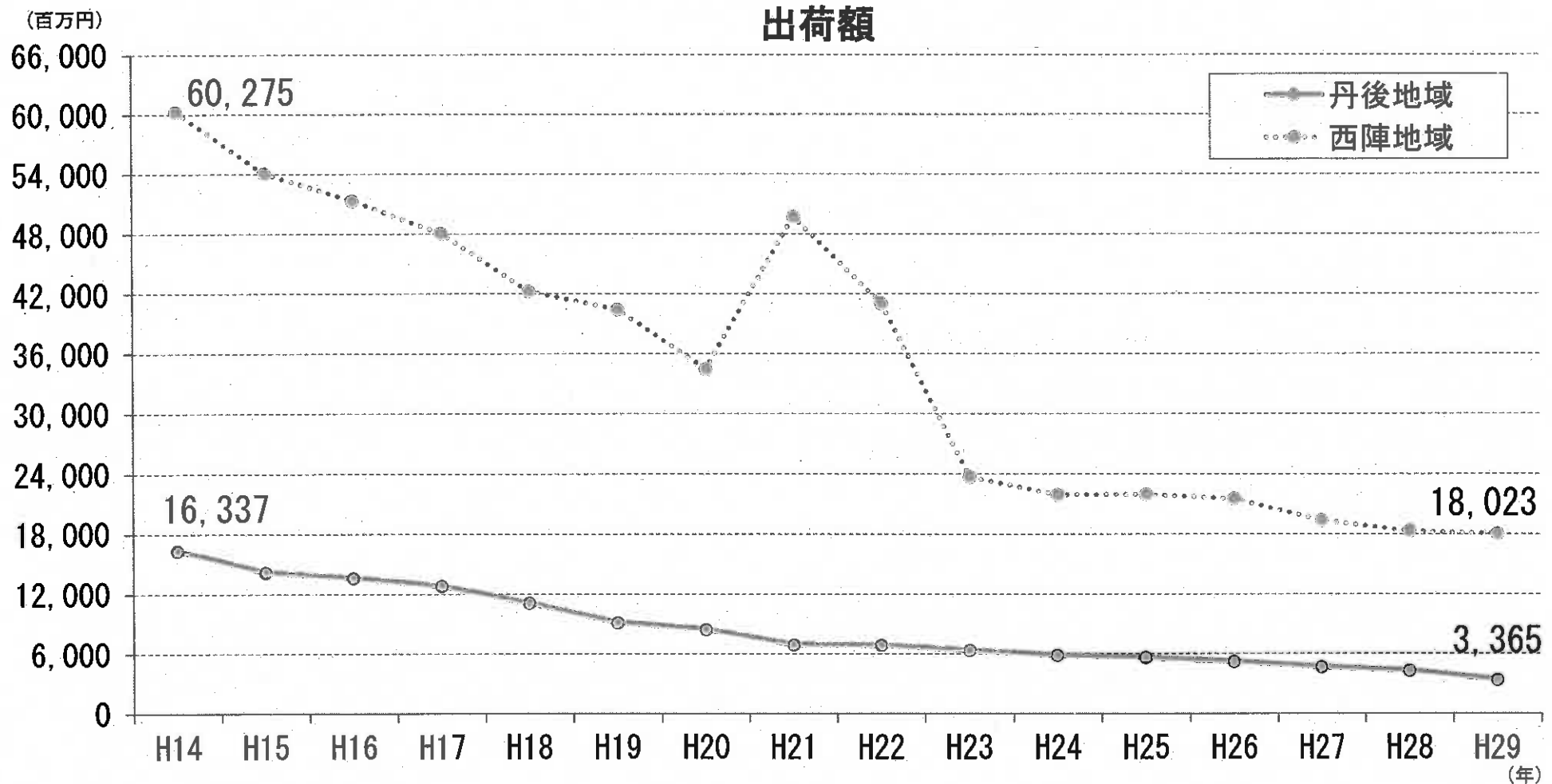
■観光入込客数及び観光消費額の推移(府内)

観光入込客数は前年を下回るも、観光消費額は過去最高を更新



■西陣・丹後地域の織物出荷額の推移

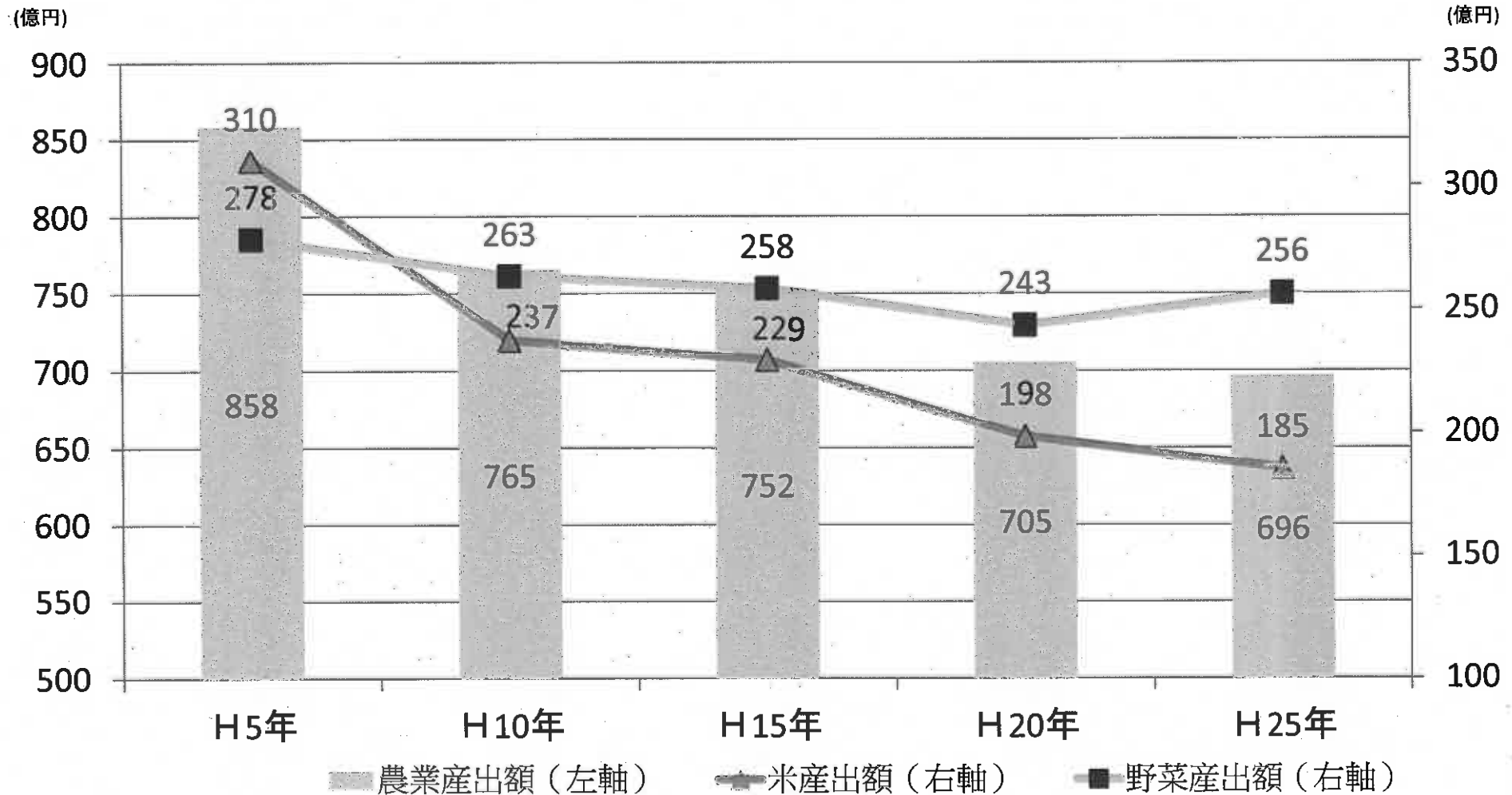
消費者の趣向の変化等により西陣・丹後地域の織物出荷額は大幅に減少



出典: 京都府織布生産動態統計調査(京都府)

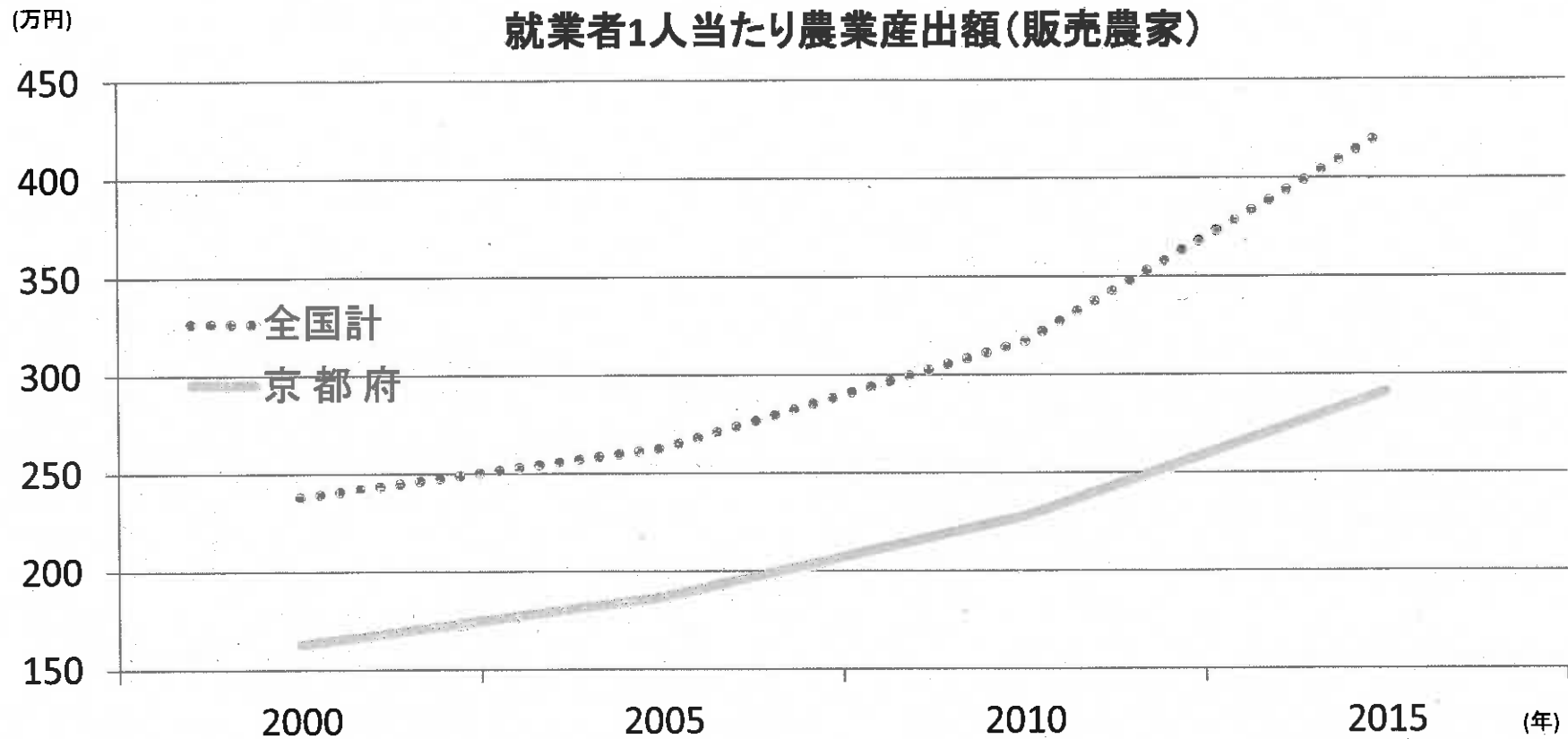
■ 府内農業産出額の推移

農業産出額全体は減少しているが、野菜の産出額は増加傾向



■府内農業産出額の推移(就業者1人当たり)

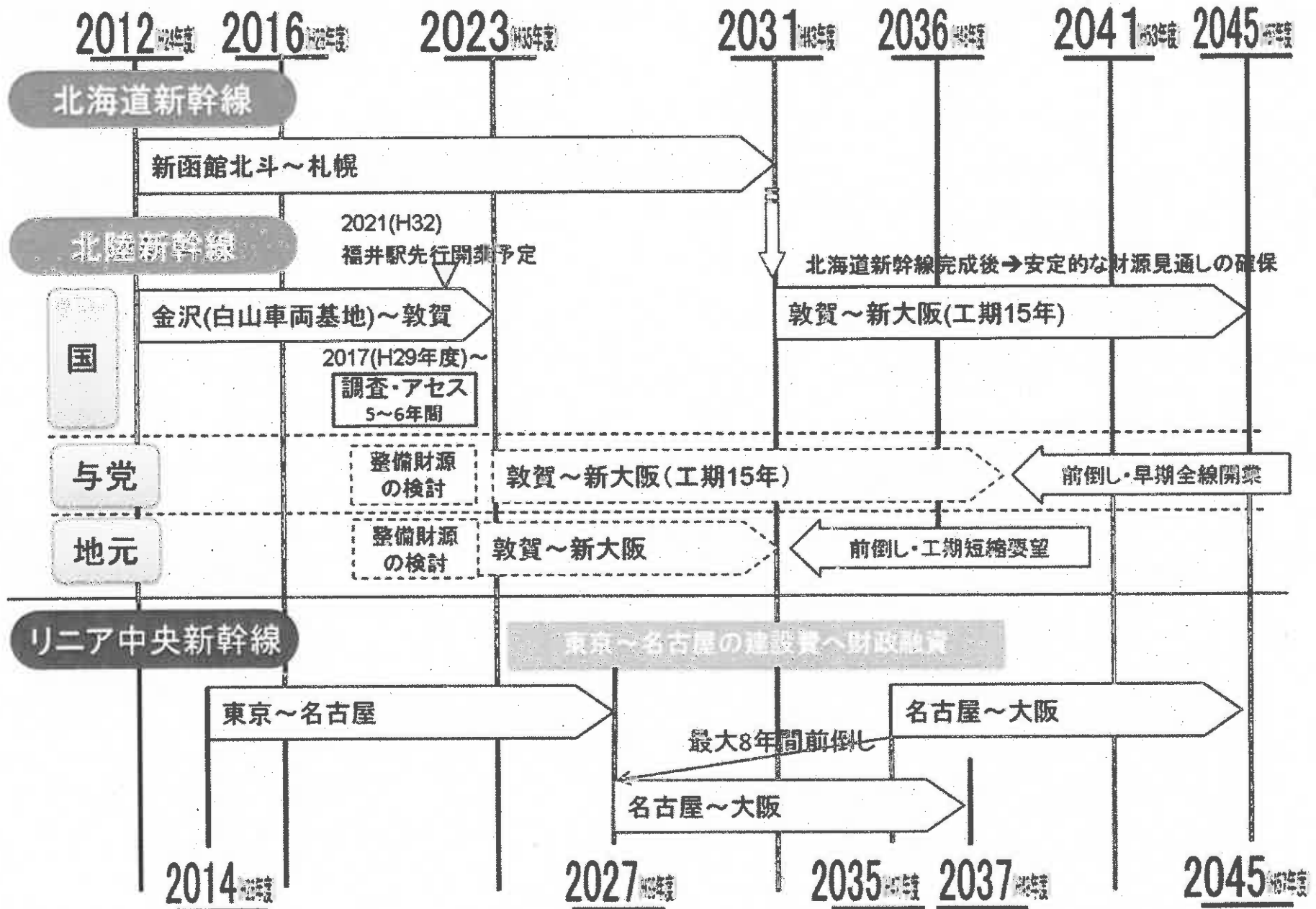
就業者1人当たりの産出額は増加傾向



出典:農林業センサス、生産農業所得統計
(農林水産省)

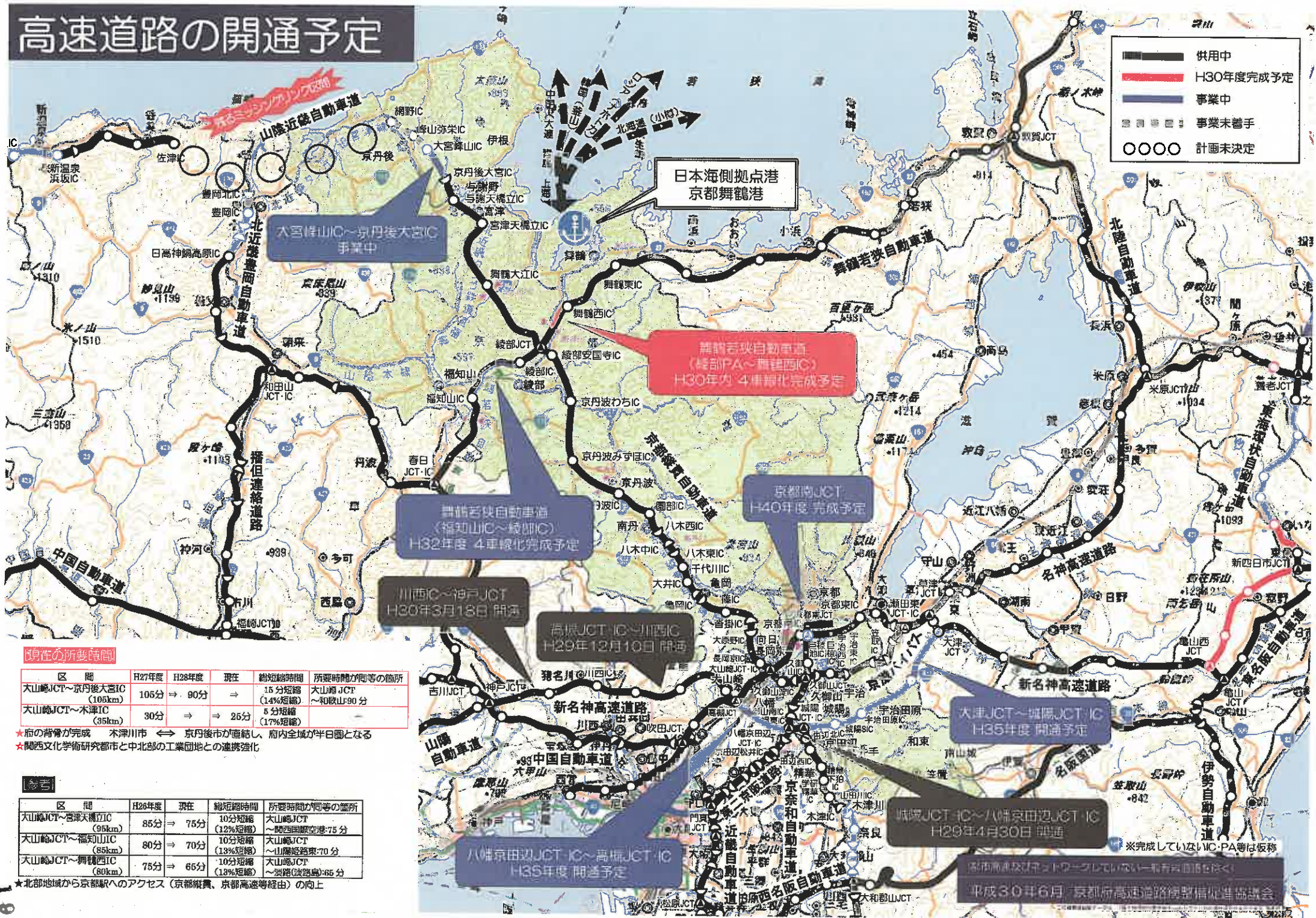
■整備新幹線の整備スケジュール(想定)

国土交通省



高速道路の開通予定

- 供用中
- H30年度完成予定
- 事業中
- 事業未着手
- 計画未決定



現在の所要時間

区間	H27年度	H28年度	現在	縮短総時間	所要時間が同等の箇所
大山崎JCT~京丹後大宮IC (106km)	105分	⇒ 90分	⇒	15分短縮 (14%短縮)	大山崎JCT ~和歌山90分
大山崎JCT~木津IC (85km)	30分	⇒	⇒ 26分	5分短縮 (17%短縮)	

★府の背骨が完成 木津川市 ↔ 京丹後市が直結し、府内全域が半日圏となる
 ★関西文化学術研究都市と中北部の工業団地との連携強化

備考

区間	H26年度	現在	縮短総時間	所要時間が同等の箇所
大山崎JCT~宮津天橋立IC (96km)	85分	⇒ 75分	10分短縮 (12%短縮)	大山崎JCT ~関西国際空港75分
大山崎JCT~福知山IC (86km)	80分	⇒ 70分	10分短縮 (13%短縮)	大山崎JCT ~山崎道路70分
大山崎JCT~舞鶴西IC (80km)	75分	⇒ 65分	10分短縮 (13%短縮)	大山崎JCT ~伊路(改路側)65分

★北部地域から京都駅へのアクセス (京都縦貫、京都高速等経由)の向上

平成30年6月 京都府高速道路調整情報準備委員会

府域鉄道整備事業箇所図

平成30年4月時点

年度末	府		全国	
	S53	S58	S63	H5
電化率 (%)	6.9	6.9	34.1	58.2
電化率 (%)	38.3	42.1	50.3	55.0
複線化率 (%)	11.5	11.5	14.1	18.4
複線化率 (%)	26.4	27.2	31.3	33.0



凡例	電化		複線	
	電化	複線	電化	複線
	(---)	(---)	(---)	(---)
	(---)	(---)	(---)	(---)